

専門分野Ⅰ マトリック(2012～)

		専門分野Ⅰ 基礎看護学									
概論	看護学概論 ・看護の概念 看護とは ・看護の独自の機能と看護理論 ・看護の歴史の変遷 ・ナチンゲールと看護 ・看護と管理 看護サービス・看護部組織 ヒューマンエラーと医療事故・対策 ・看護と対象 基本的欲求・家族とライフサイクル 健康と生活 ・職業としての看護 看護の専門化・看護倫理 患者の権利擁護（身体拘束） ・看護におけるこれからの展望 看護の国際化と展望 災害看護 ・自己の看護観についてまとめる ・コミュニケーションの基礎 概念、技術	看護研究基礎	看護研究応用	卒業研究	共通看護技術	生活環境援助技術	食と排泄援助技術	身体清潔援助技術	診療の補助技術	看護過程	フィジカルアセスメント技術
		研究とは：意義、必要性 ・研究の種類 看護における研究の意義 ・看護研究のプロセス	事例研究の意義・必要性 ・看護実践したケースを事例 ・研究倫理について 研究の過程に沿って まとめる	・研究計画書の作成 ・看護実践したケースを1例 まとめる ・卒業研究の発表	・看護における観察の目的と方法 観察視点と内容 ・看護記録の意義・看護記録の種類と方法 ・報告の意義 報告の方法 ・安全・安楽・自立・経済性の意義 阻害する因子 安全・安楽・自立・経済性を守る技術 ・感染防止の基礎知識 感染防止対策の基本 標準予防策(スタンダードプリコーション) ・感染防止における看護師の行動 ・バイタルサインの意義 バイタルサインの観察・技術の実際・ポイント ・健康状態の評価と意義	・生活環境・療養環境 の意義 病床・病室の環境の アセスメントと看護 ・活動姿勢・体位の援助 の意義 睡眠・休息援助の意義 アセスメントと看護	・食・排泄の意義 栄養補給法の種類 (中心静脈栄養法の概要) 排泄用具の種類 アセスメントと看護	・清潔・衣清潔援助の 意義 衣生活援助の意義 アセスメントと看護	・診察とは 診断過程 診察時の看護師の 役割 安全な薬と対処 起こりやすい危険と対処 麻薬・血液製剤の 取り扱い	・問題解決法と看護過程 の関連 ・看護過程の定義と意義 ・ナチンゲールの看護の本 と看護過程 ・看護過程の展開 (事例展開) ・教育計画の立案と 実施 (パンフレットを用いた指導)	・ヘルスアセスメントと フィジカルアセスメント ・系統別フィジカルアセスメント とは
社会制度	・看護の機能と役割 保健・医療・福祉システム 看護をめぐる制度 看護をめぐる政策				・保健師・助産師・看護師法	・保健師助産師看護師 法		保健師助産師看護師法 医師法 麻薬および向精神薬 取締法			
各論	疾患	(事例を用いてロールプレイ) 【技術】看護場面におけるコミュニケーション	病院環境と生活を理解する実習での患者の疾患	日常生活援助実習での患者の疾患	領域別実習での患者の疾患	(感染防止が必要な事例) 【技術】手洗い・カウチンテクニック 滅菌用品の取り扱い (無菌操作)  【技術】バイタルサイン測定 (ベッド上安静が必要な患者の事例) 【技術】温電法	(ベッド上安静が必要な患者の事例)  【技術】ベットメーカー 就床患者のシーツ交換 病床環境整備 【技術】体位変換 安楽な体位・歩行介助 車いす移乗・ストレッチャー 移送・リラクセス法	(ベッド上安静が必要な患者の事例)  【技術】食事介助 便器・尿器の与え方 導尿・膀胱留置カテーテル の管理・洗腸・摘便	(ベッド上安静が必要な患者の事例)  【技術】全身清拭 陰部洗浄・洗髪 足浴・寝衣交換 オムツ交換	労作性狭心症患者の事例(食を中心に)  【技術】看護過程展開 技術・指導技術 ロールプレイング	呼吸器系 (肺炎の患者) 循環器系 (狭心症の患者) 消化器系 (急性腹膜炎の患者) 【技術】フィジカルアセス メーション
	症状		病院環境と生活を理解する実習での患者の症状	日常生活援助実習での患者の症状	領域別実習での患者の症状	全身の衰弱	全身の衰弱	全身の衰弱	全身の衰弱		
	検査			日常生活援助実習での患者の検査	領域別実習での患者の検査					・身体計測の目的 技術の実際とポイント 【技術】身体計測 ・検査の介助と基礎知識 検体の採取とその取り扱い 【技術】静脈内採血 尿検査・便検査 喀痰検査	
	治療			日常生活援助実習での患者の治療	領域別実習での患者の治療	安静療法	安静療法	安静療法	安静療法	・薬に関する基礎知識 【技術】経口薬・注射薬 その他(直腸内薬・吸入 点眼・点耳・点鼻・塗布) ・麻薬・血液製剤の 取り扱いと管理方法 【技術】麻薬・血液製剤の管理 ・創傷の管理と包帯法 【技術】包帯法	食事療法